

習志野市教育委員会会議録
(令和2年第1回臨時会)

- 1 期 日 令和2年8月5日(水)
市庁舎5階委員会室
開会時刻 午後1時30分
閉会時刻 午後2時35分
- 2 出席委員 教 育 長 小 熊 隆
委 員 赤 澤 智津子
委 員 高 橋 浩 之
委 員 馬 場 祐 美
- 3 出席職員 学校教育部長 天 田 正 弘
生涯学習部長 塚 本 將 明
学校教育部参事 小 平 修
生涯学習部次長 村 山 典 久
学校教育部副参事 芹 澤 佐知子
教育総務課長 中 野 充
指導課長 杉 山 健 一

4 議題

第1 議決事項

議案第27号 令和3年度使用教科用図書の採択について
(中学校の教科用図書及び学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書)

第2 その他

5 会議内容

小熊教育長が
令和2年習志野市教育委員会第1回臨時会の開会を宣言

小熊教育長が
本会議の審議を傍聴したい旨の申し出が21名からあり、希望者について受け入れること、また、今後の傍聴の申し出について、受け入れが可能な範囲で受け入れることについて諮り、全員異議なく提案どおり決定された。

小熊教育長が
地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第6項の規定により、高橋委員は除斥としている旨を報告した。

**議案第27号 令和3年度使用教科用図書の採択について
(中学校の教科用図書及び学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書)(指導課)**

杉山指導課長

議案第27号「令和3年度使用教科用図書の採択について(中学校の教科用図書及び学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書)」、説明する。

本議案は、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条第5項の規定に基づき、学校教育法第34条第1項及び第49条並びに附則第9条第1項に規定され、さらに、習志野市教育委員会行政組織規則第3条第16号に規定する、令和3年度使用中学校の教科用図書及び特別支援学級使用の一般図書(附則第9条第1項の規定による教科用図書)の採択について、御審議をお願いするものである。

なお、中学校の教科用図書及び特別支援学級の一般図書については、事前に教育委員の皆様には閲覧していただいているが、今一度、御覧いただく時間を設けたいと思う、と説明

小熊教育長

中学校の教科用図書及び特別支援学級使用の一般図書について、閲覧の時間を設けることとする、と発言

杉山指導課長

本年度は、教科用図書葛南東部採択地区協議会において、中学校で使用する「国語」から「特

別の教科道徳」までの16種目について、文部科学省の検定を経た教科用図書と、特別支援学級で使用可能となる一般図書の調査研究及び選定に係る協議をした。

調査研究は、中学校で使用する教科用図書については、「新しい学習指導要領への対応」、「内容」、「造本」の3つ、特別支援学級で使用する一般図書については、「内容」、「組織・配列」、「表現」、「造本」の4つの基本的な観点に立って行い、協議会において、それぞれの種目の教科調査委員長から調査結果が報告された。報告後の協議会において、指導や学びの連続性、教科の特徴等を十分に考慮し、公平且つ公正に選定した。また、特別支援学級が使用可能となる教科用図書については、学校教育法附則第9条の規定による、新たに県が採択した一般図書3冊を追加選定した。

種目ごとに、それぞれの教科書の特色と、選定した教科書、選定理由について報告する。教科書目録の掲載順に報告するが、選定した教科書については、最後に報告する。

初めに、国語について報告する。東京書籍「新しい国語」は、言語活動を通して国語の資質・能力が身に付くよう、各教材で身に付ける力を「言葉の力」として明示し、それぞれの領域で系統的に積み上がるよう配置され、課題解決的な学習を重視した単元構成になっている。

三省堂「現代の国語」は、「学びの道しるべ」によって、学習の流れを明確にしている。また、対話・交流・共有によって学習を進めていくことで、「主体的・対話的で深い学び」が実現できるよう配慮されている。

光村図書「国語」は、「学習(手引き)」によって「見通しを持つ」から「振り返る」までの一連の学習の流れと、言語活動を明確にしている。また、個の活動と集団の活動を設定することで、「主体的・対話的で深い学び」が実現できるよう配慮されている。

最後に、選定した教育出版「伝え合う言葉 中学国語」について、説明する。単元構成と学びを進める七つのキーワードの設定や、学習内容を明確化する「学びナビ」・「ここが大事」の設定により、「主体的・対話的で深い学び」を実現できるよう配慮されている点、豊かな言語活動、読書活動の充実、現代的課題を取り入れた確かな学力を育む題材が配列され、教育施策の実現に資する内容となっている点から適切と判断し、選定した。

次に、書写について報告する。東京書籍「新しい書写 一・二・三年」は、国語の教材が多く取り入れられ、連携して授業を組むことができるように工夫がされている。また、教科横断的な視点に配慮した活動ができるよう、配慮がされている。

三省堂「現代の書写 一・二・三」は、教科の指導目標に即して、学習目標や当該教材で学習すべき重要事項が明確に示されている。毛筆の学習後に硬筆でも繰り返し練習することで、学習内容の習得を促す工夫がされている。

光村図書「中学書写 一・二・三年」は、国語の教材を学習することをとおして、他の教科や学校生活・日常生活で活用できる書写の活動にも繋がるように工夫されており、書写の技能の育成にも配慮されている。

最後に、選定した教育出版「中学書写」について、説明する。基本点画の書き方や筆順、字形の整え方等の基礎・基本の学習が確実に身に付くよう、写真や図を用いて丁寧に取り上げられている点、課題解決型の学習を取り入れ、学習の進め方を明示することで、生徒が主体的・意欲的に学習できるように工夫されている点から適切と判断し、選定した。

次に、社会(地理的分野)について報告する。教育出版「中学社会 地理 地域にまなぶ」は、「表現しよう」や「意見を交換しよう」のコーナーを設け、言語活動を意識した内容を適切に取り上げている。

帝国書院「社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土」は、社会的事象の地理的な見方・考え方を育むよう、内容を系統的に配列し、生徒の発達段階に応じた適切な文章表現となっている。

日本文教出版「中学社会 地理的分野」は、「深めよう」や「自由研究」、「チャレンジ地理」などに

より、補足的・発展的な学習に配慮している。

最後に、選定した東京書籍「新しい社会 地理」について、説明する。「つかむ・追究する・解決する」の学習過程をとおして、広い視野に立って諸地域の地理的な特色を理解できるよう配慮している点、「見方・考え方」や「地理にアクセス」「スキル・アップ」などにより、補足的・発展的な学習に配慮している点から適切と判断し、選定した。

次に、社会(歴史的分野)について報告する。東京書籍「新しい社会 歴史」は、各章の導入部や本文に、「みんなでチャレンジ」で言語活動を、「スキル・アップ」で体験活動を取り入れた学習活動が可能になっている。

帝国書院「社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き」は、「やってみよう」、「タイムトラベル」、「多面的・多角的に考えてみよう」のイラストや問いで、資料の隅々まで注目させる工夫がされており、情報活用能力、問題発見・解決能力を育むよう、工夫されている。

山川出版「中学歴史 日本と世界」は、本文や資料の充実を図り、思考力・判断力・表現力を深められるよう、詳細な知識の習得により、主体的な学びや多様な人々との協働ができるよう、配慮されている。

日本文教出版「中学社会 歴史的分野」は、社会科の目標に即して、歴史的な見方・考え方を第1編で示し、学習課題とまとめの活動を各編と項に、章の導入部に図版と問いを設け、比較、関連付けなどに着目して構想し、主権者としての力を養うよう、内容を適切に取り上げている。

育鵬社「[最新]新しい日本の歴史」は、本文の「課題」や「まとめ」、「歴史のターニングポイント」、「私の歴史博物館」の活動を通して、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等を育むよう、工夫されている。

学び舎「ともに学ぶ人間の歴史」は、今回、見本本なしのため、調査はできなかった。

最後に、選定した教育出版「中学社会 歴史 未来をひらく」について、説明する。本文で「学習課題」を解決するために、「読み解こう」、「確認」、「表現」の活動をとおして、言語能力、情報処理能力、問題解決能力等を育むよう工夫されている点、歴史的事象を系統的に配列し、各章の「学習のまとめと表現」では、図表や地図の読み取りをもとに思考力や表現力を養うための発展的な学びがしやすい点から適切と判断し、選定した。

次に、社会(公民的分野)について報告する。教育出版「中学社会 公民 ともに生きる」は、巻頭で「メディア活用」の仕方について学び、特設のテーマ学習では6つの言語活動を行う等、公民としての基礎・基本を身に付ける場面が設定されている。

帝国書院「社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して」は、学習指導要領の「目標」、「内容」、「内容の取り扱い」を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」ができるような単元構成であり、「声」やコラム等の適切な教材を掲載している。

日本文教出版「中学社会 公民的分野」は、「明日に向かって」等で、社会参画を促す題材や学習活動が設定されるなど、教科横断的な活動にも活用できるように配慮されている。

自由社「新しい公民教科書」は、「学習のまとめと発展」、レポート、ディベート等の活動を設けるなど、教科横断的な活動に活用できるように配慮している。

育鵬社「[最新]新しいみんなの公民」は、各章の「入り口」、「これから」等で、話し合い、発表等の活動を設ける等、教科横断的な活動に活用できるように配慮している。

最後に、選定した東京書籍「新しい社会 公民」について、説明する。「主体的・対話的で深い学び」ができる問題解決的な単元構成となり、個人、グループ活動が行いやすい教材も掲載している点、6章構成で、各章の学習は問題解決的な構成となっており、最後の章では持続可能な社会について扱い、公民学習のまとめをしている点から適切と判断し、選定した、と概要を説明

小熊教育長

確認をする。今ほど、社会(公民的分野)は「東京書籍」の教科書を選定したとのことだが、スラ

イド資料14ページ目は、「教育出版」となっている。どちらが正しいか、と発言

杉山指導課長

スライド資料が誤っている。正しくは東京書籍である。後程資料の差し替えを配付する、と回答

杉山指導課長

次に、地図について報告する。東京書籍「新しい社会 地図」は、豊富な情報量のテーマ資料を掲載して情報活用能力の育成に配慮し、歴史、理科、外国語と関連付けられるよう工夫されている。

最後に、選定した帝国書院「中学校社会科地図」について、説明する。生徒が進んで資料を読み取り、他と話し合っって課題が解決できるよう、資料、図の活用を促す設問が各所に配置されている点、地域ごとの特色を捉えられるよう、一般地図から資料という構成で、主題に関わる5図を中心に、多角的に資料が取り上げられている点から適切と判断し、選定した。

次に、数学について報告する。東京書籍「新しい数学」は、学習のまとまりごとに学習目標が設定されており、具体的な取り組みから出た疑問を、既習事項を活用して解決できるように配慮されている。

大日本図書「数学の世界」は、「発見！仕事のなかの数学」では、キャリア教育の視点から社会と数学の繋がりを考えさせている。

学校図書「中学校数学」は、「数学的活動」のページで、1つの課題を協働的に解決できるようになっており、数学の良さを実感して粘り強く取り組めるようになっている。

教育出版「中学数学」は、学習過程で起こる疑問に触れながら、主体的に学習を進めることができるようになっている。

数研出版「日々の学びに数学的な見方・考え方をはたらかせる これからの数学」は、例示問題等では、対話形式での問題提示と併せて、考え方のヒントが示されており、「主体的・対話的で深い学び」の充実が図れるように工夫されている。

日本文教出版「中学数学」は、各学年に防災に関する素材を取り上げ、生活や社会の中の事象を、数学を使って解決する方法を示している。

最後に、選定した啓林館「未来へひろがる数学」について、説明する。多くの人の考えを知ったり、自分との違いを確認、比較、検討したりできる問題を設定し、「主体的・対話的で深い学び」の充実が図れるように工夫されている点、小学校でつまづきやすい分野の学び直しがあり、応用的な発展学習に自主的に取り組める工夫がされている点から適切と判断し、選定した、と概要を説明

各委員が、各教科書を閲覧

杉山指導課長

次に、理科について報告する。東京書籍「新しい科学」は、構成の中の各節の導入で、学習内容に関する気付きを引き出し、主体性を高めるようにしている。

学校図書「中学校科学」は、単元末において振り返りをするすることで、知識の定着が図れるようになっている。さらに、学習した内容を生かして考えることで、思考力が定着できるように工夫されている。

教育出版「自然の探求 中学理科」は、大地の成り立ちと変化で本県の地層や河口、化石の写真の掲載や、チバニアンについての説明がされている。

啓林館「未来へひろがるサイエンス」は、他教科と関連されている学習内容にはその教科名を表示し、学びの広がりや深まりを実感するきっかけが与えられるように工夫されている。

最後に、選定した大日本図書「理科の世界」について、説明する。他教科と関連する学習内容が

示されているため、単元の学習内容から、さらに学びを広げることができるように工夫されている点、既習事項や生活経験を写真やイラストを使って振り返ることができるように工夫され、系統的に学習を進められるよう配慮されている点から適切と判断し、選定した。こちらについても、スライド資料20ページが誤っているため、後程資料の差し替えを配付する。

次に、音楽(一般)について報告する。教育出版「中学音楽 音楽のおくりもの」は、多様な曲種の音楽を取り上げ、生活や社会と音楽、音楽文化との関連や教科等横断的な学習が展開できるように工夫されている。

最後に、選定した教育芸術社「中学生の音楽」について、説明する。学習のねらいをわかりやすく示すとともに、生徒が主体的に学べるよう工夫されている。意見を交流しやすいヒントを示し、対話的な学びを引き出すように配慮されている点、各教材が系統性・発展性をもって組織され、関連性をわかりやすく示すとともに、学習の繋がりがスムーズになるよう配列されている点から適切と判断し、選定した。

次に、音楽(器楽合奏)について報告する。教育出版「中学器楽 音楽のおくりもの」は、ポイントを絞った手順を示し、学んだことを活用しながら、協働的に学習を深めていけるよう工夫されている。

最後に、選定した教育芸術社「中学生の器楽」について、説明する。生徒の思いや意図を引き出すようなヒントを明示し、協働的な学習により学びが深まるよう工夫されている点、日本各地に伝わる民謡・祭りや芸能に関わる教材が取り上げられ、和楽器では唱歌を用いることで、我が国や郷土の伝統音楽の良さを味わうことができるよう工夫されている点から適切と判断し、選定した。

次に、美術について報告する。光村図書「美術」は、内容配分は適切であり、生徒の発達段階や、生徒の学習意欲を喚起するよう考慮されている。また、紙面には多くの生徒の作品を掲載している。

日本文教出版「美術 美術との出会い、学びの実感と広がり、学びの探求と未来」は、「3年間の成長地図」を掲載し、見通しを持たせ、発達段階に応じた学びを重視した紙面構成になっている。

最後に、選定した開隆堂「美術 発見と創造、探求と継承」について、説明する。イメージの広がりを持つように参考資料を充実させ、学習指導要領に即して構成されている点、折り込みページの活用や大型図版を掲載し、多様な見方ができるよう構成を工夫している点から適切と判断し、選定した。

次に、保健体育について報告する。大日本図書「中学校保健体育」は、本文を左側、資料を右側に配置し、「主体的・対話的で深い学び」が充実するための工夫がされている。

大修館書店「最新 中学校保健体育」は、掲載されている資料が豊富で、授業で活用しやすいように構成されている。

学研「中学保健体育」は、章末の「探求しようよ!」では、学習したことをより発展的に考え、内容を深めることができるようになっている。

最後に、選定した東京書籍「新しい保健体育」について、説明する。単元構成が「主体的・対話的で深い学び」となるように4つのステップで構成されており、毎時間言語活動をする場面が設定されている点、章末資料には、単元の発展内容と学習のまとめがあり、確認問題は学習評価が適切に行うことができるよう配慮されている点から適切と判断し、選定した。

次に、技術・家庭(技術分野)について報告する。教育図書「New技術・家庭 技術分野 明日を創造する」は、他教科との関連や小学校時の学習などが各章の最初に明記しており、学習を進める工夫がされている。

開隆堂「技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて」は、生徒の生活経験や発達段階に応じた文章表現になっている。

最後に、選定した東京書籍「新しい技術・家庭 技術分野 未来を創るTechnology」について、

説明する。学習過程の中に活動場面の写真を数多く取り入れ、わかりやすく説明することで作業手順がわかりやすく、深い学びの実現のための工夫がなされている点、基礎・基本から応用へと段階を踏んで記述されている点から適切と判断し、選定した。

次に、技術・家庭(家庭分野)について報告する。教育図書「New技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する」は、実践的、体験的な活動を通して学ぶことができるワークが多数掲載され、「主体的・対話的で深い学び」が実現できるように工夫されている。

開隆堂「技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生」は、「主体的・対話的・深い学び」の流れで構成され、学習への関心を高めて課題に取り組み、生活に活かす学習過程が重視されている。実物大の献立は、生徒たちが実習時にイメージがつかみやすいとの報告もあった。

最後に、選定した東京書籍「新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して」について、説明する。学習指導要領の目標に照らし、編ごとに生活の営みに係る見方・考え方を理解し、深く学べるよう配慮されている点、地域や学校の実態に対応した取り組みができるよう、地域との関わりに関する事例や実習例が豊富で、伝統的な文化やグローバル化についても幅広く学習できるように配慮されている点から適切と判断し、選定した。

次に、英語について報告する。東京書籍「NEW HORIZON」は、言葉を使用する目的・場面・状況を意識して取り組めるような、実生活に即したコミュニケーション活動が充実している。

開隆堂「SUNSHINE ENGLISH」は、文法のまとめや「CAN-DOリスト」で学習を振り返り、付録のアクションカード等で発展的な学習を生徒が主体的に取り組めるよう配慮されている。

三省堂「NEW CROWN」は、学年を追って難易度が徐々に上がっており、発達段階に適合した内容が系統的に選択・配列されている。

教育出版「ONE WORLD」は、日常生活の題材から地球市民としてのこれからについてまで幅広く題材が配置され、他教科での学習内容が有機的に結びつくよう工夫されている。

光村図書「Here We Go!」は、実社会に即した具体的な場面が設定された題材や、タスクを取り入れた自由度の高い言語活動が多く取り扱われている。

最後に、選定した啓林館「BLUE SKY」について説明する。4技能5領域をバランスよく扱うとともに、複数技能を統合した言語活動が設定され、コミュニケーションを図るための基礎的な資質・能力の育成を促す内容になっている点、段階を追って、無理なく学習できるように構成され、生徒の発達段階に応じた学習内容が提供されている点から適切と判断し、選定した。

次に、特別の教科道徳について報告する。東京書籍「新訂 新しい道徳」は、主体的で積極的な議論を促すため、生徒の気持ちを可視化し、考えの整理を助ける教具を導入し、多様な考えを引き出して交流する工夫がなされている。

教育出版「中学道徳 とびだそう未来へ」は、複数の教材やコラムでユニットを組み、深く考えることができるよう工夫されている。

日本文教出版「中学道徳 あすを生きる」は、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、1時間の学習の流れを可視化し、問題解決的な学習や体験的な学習など多様な展開ができるよう、配慮されている。

学研教育みらい「新・中学生の道徳 明日への扉」は、命の教育を重点とし、いじめ防止に繋がるテーマを特設ページで扱っている。

廣済堂あかつき「中学生の道徳 自分を見つめる、自分を考える、自分をのばす」は、現代的な課題であるいじめ、情報モラル、持続可能な社会について、全学年巻末に特集を設け、様々な内容項目の学習を関連付けて、生徒が主体的に考えられるよう配慮されている。

日本教科書「道徳 中学 生き方から学ぶ、生き方を見つめる、生き方を創造する」は、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、発達の段階を考慮し、興味をもって向き合うことができる教材を中心に据えている。

最後に、選定した光村図書「中学道徳 きみが いちばん ひかるとき」について、説明する。「主

体的・対話的で深い学び」の実現に向け、教材ごとにめあてを明示し、道徳的諸価値についての理解や自覚を深める様々な発問を設定している点、発達の段階に即し、等身大の生徒の葛藤や、幅広い分野の人物の生き方等を取り上げた多様な教材がバランスよく配されている点から適切と判断し、選定した。

最後に、特別支援学級で使用可能となる一般図書について報告する。特別支援学級で使用可能となる一般図書については、児童生徒の障がいの種類や程度に合わせて教科用図書を選ぶことから、選択の幅をもたせることが必要と考え、3冊全てを追加選定した。

「運動が得意になる43の基本レッスン イラスト版体育のコツ」は、情報が多く、教師とコミュニケーションを取りながら、必要なものを取り出しやすくなっている点、徐々にステップアップできるような構成で、成果につながりやすくなっている点、「かおノート」は、ページごとに1つの顔が作れるなど情報が整理され、分かりやすい展開となっている点、選択できるシールの数が豊富で、顔の部位を覚えたり、表情をまねたり、発達段階に応じて活用できるようになっている点、「つくってたべよう！お料理マジック2」は、授業時間内で調理可能な内容で安全なものになっている点、加熱や混ぜ方で変化していく食材の様子が、写真によってわかりやすくなっている点、以上の点から、3冊全てを追加選定した、と概要を説明

小熊教育長

選定した教科書を今一度確認したい。もう一度、国語から出版社名を読み上げていただきたい、と発言

杉山指導課長

国語「教育出版」、書写「教育出版」、社会(地理的分野)「東京書籍」、社会(歴史的分野)「教育出版」、社会(公民的分野)「東京書籍」、地図「帝国書院」、数学「啓林館」、理科「大日本図書」、音楽(一般)「教育芸術社」、音楽(器楽合奏)「教育芸術社」、美術「開隆堂」、保健体育「東京書籍」、技術・家庭(技術分野)「東京書籍」、技術・家庭(家庭分野)「東京書籍」、英語「啓林館」、特別な教科道徳「光村図書」、以上が中学校用の教科用図書である、と回答

各委員が、各教科書を閲覧

馬場委員

最初に説明のあった調査研究の3つの観点の中に、「新しい学習指導要領への対応」とあるが、この新しい学習指導要領の改訂のポイントを教えていただきたい、と質問

杉山指導課長

新しい学習指導要領は、中学校に関しては、令和3年度から完全実施となる。この学習指導要領の改訂においては、いくつかキーワードがある。まず、何ができるようになるかということで、資質・能力の育成ということが明確にされた。具体的には、知識・技能であったり、思考力、判断力、表現力であったり、学びに向かう力の育成を目指すということが明確になった。次に、どのように学ぶかということで、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善を目指していくことが重要となっている。今回の改訂では、何を学ぶかに加えて、どのように学ぶかということが打ち出されてきた点が、大きなポイントになると考えている、と回答

馬場委員

今回選定された教科書には、新しい学習指導要領への対応はどのように反映されているのか、と質問

杉山指導課長

新しい学習指導要領への対応として、各教科書会社において、特に「主体的・対話的で深い学び」の視点から工夫をしているという点がある。この「主体的・対話的で深い学び」という意味では、生徒が学習に関心を持ち、学びも我がことになっていく。そして、友達や教師、文献を用いて、対話をとおして学び、知識を関連付けて深めていくといった学びがしやすくなるよう、各教科書会社において工夫をしているところが特徴になっていると思う。今回選定した教科書についても、教える側からすれば、「主体的・対話的で深い学び」の視点で指導しやすく、また、生徒においても自身で学びの見通しを持てるような工夫がされている点があった、と回答

赤澤委員

特別支援学級で使用が可能になるということで新たに3冊選定されているが、これらは特別支援学級ではどういった手順で子どもたちが使えるようになるのか、と質問

杉山指導課長

特別支援学級で使用可能となる学校教育法附則第9条の教科書については、中学校の教科用図書とは違い、この後、それぞれの特別支援学級等で使用がされるかどうか、どのような教科書を使用するかというような調査がある。特別支援学級等は個に応じた指導が原則となるので、どの子がどういう目的で使用するかということを検討した上で、新たに選定された3冊が、使用する教科書の候補として扱われていく。一律に使用されるというものではない、と回答

馬場委員

私は数学に関心がある。実は私は数学が苦手で、小学校の時につまづいてしまい、それを中学校まで引きずってしまったという経験がある。今回選定された啓林館の教科書では、小学校の学び直しができ、自分たちの力で予習や復習ができるような工夫がされている点がとても良いと思った。また、QRコードが付いており、現代的だと感じた。家庭学習の定着がなかなか図りにくいところがあると思うが、今回の新型コロナウイルス感染症の件で、家庭学習はキーワードになるかと思う。家庭学習をとおして、学力の定着を図るような工夫というのは、何かあったりするのかな、と質問

杉山指導課長

数学を例にすると、委員からお話をいただいたとおり、小学校から中学校へ学びが連続して行われていて、子どもたちも、教える側も繰り返し学べる構成となっている。そういった補足的・発展的な学習ということでは、どの教科書会社においても重視されており、その工夫の1つとして、QRコードという特徴的なものが今回の教科書に採用された経緯であると思う。このQRコードについては、確かに家庭学習でも使える点がある。しかし、家庭での通信環境には差がある。学校としては、QRコードをまずは校内でどのように使用していくか、授業の中でどのように活用していくかを、今後この教科書を使用しながら、教員が教える技術としても研究をしていかなければならないと考えている。また、指導課としても、総合教育センターと連携しながら、ICTの活用と教科書の関連は研究して行かなければならないと考えている、と回答

小熊教育長

今回、英語に関しては啓林館を採択しようとしているが、決め手になった部分について、補足して説明していただきたい、と発言

杉山指導課長

英語においては、現在使用している出版会社のものが今回の検定の中ではなかった。先ほど説明したとおり、生徒にとって、また、本市の教員にとっても、今までの学びで築いてきた文化や教え方、生徒の視点では学び方が緩やかに連続していくということは、改革や改善の中でも必要と考えている。そのような中、選定した教科書については、できるだけ学びが途切れないという視点では、構成が現状の教科書に非常に類似している。また、文法の取り扱いが明確に示されており、子どもたちがどこに注視して順番に学んでいけば良いかというような点で、今までの学びが連続しやすい部分があったので、啓林館を選択した、と回答

小熊教育長が他に質疑なしと認め、採決の結果、議案第27号は全員賛成で原案どおり可決された。

小熊教育長が

令和2年習志野市教育委員会第1回臨時会の閉会を宣言